



# 第10回キンボールスポーツワールドカップ2019 & インターナショナルオープン

## ワールドカップ

- 期 間 / 10月27日(日)~11月2日(土)
- 開 催 地 / フランス Les Ponts-de-Ce(レ・ポン=ド=セ)
- 部 門 / 男子部門、女子部門
- チーム数 / 両部門ともに11チーム
- 参 加 数 / カナダ、フランス、チェコ、ベルギー、スペイン、韓国、スイス、中国、香港、ドイツ、日本

### 結 果

<div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <b>男子 部門</b> </div>	優勝 カナダ	<div style="background-color: #FFB6C1; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <b>女子 部門</b> </div>	優勝 カナダ
	2位 フランス		2位 チェコ
	3位 日本		3位 日本

## インターナショナルオープン

- 期 間 / 10月27日(日)~11月2日(土)
- 開 催 地 / フランス Les Ponts-de-Ce(レ・ポン=ド=セ)
- 部 門 / プロ部門、アマチュア部門
- チーム数 / プロ部門18チーム、アマチュア部門10チーム
- 結 果

<div style="background-color: #FFA500; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <b>プロ 部門</b> </div>	優勝 Budo A (日本)
	2位 L'envolée de Castors (カナダ)
	3位 Pardubice (チェコ)
<div style="background-color: #90EE90; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <b>アマチュア 部門</b> </div>	優勝 Les Cavaliers (カナダ)
	2位 Les Coureurs des Bois (カナダ)
	3位 Melkin Potes (フランス)



**リポーター**  
日本キンボールスポーツ連盟  
理事長 今泉 良正

今回のワールドカップとインターナショナルオープンに日本から過去最多の総勢58名の日本選手団を派遣しました。パリよりTGVで1時間30分、バスで3時間30分かかる、川沿いののどかな街にこれほどの日本人が滞在したのは歴史上初かもしれません。

残念ながら、滞在中は曇りもしくは雨が続き、一度も太陽を見ることができず、自然に恵まれ洗練された町の雰囲気を楽しむことはあまりできませんでした。しかし、街中にあるバス停にはこの大会の看板が設置され、フランス連盟の意気込みが感じられました。会場周辺にはあまり民家等もなく寂しい場所でしたが、一步会場に足を踏み入れると、子ども向けの最新の無料アトラクションやサッカーのテーブルゲーム等が設置され、子供たちやいろいろな方で大変にぎわっていました。ラグビーのワールドカップ決勝も大画面でライブ放送され、日本ででの試合をフランスで見るという不思議な感覚でした。体育館の外には連日日替わりでキッチンカーが設置され、ハンバーガーやパスタなどが提供されていました。ちょっと高いのと並ばないと買えないのがネックでしたが、万人受けする味のようで常に人ばかりでした。



また、キンボールスポーツ愛好者でないと思われる大勢のスタッフが明るく陽気に運営に関わっているのがとても印象的でした。観客も子供から高齢者まで連日詰めかけ、大会を盛り上げていました。障がい者の方もスタッフに伴われ、車いす等で連日観戦に訪れ、フランスチームに熱い声援を送っていました。アリーナの観客席の上の方にはVIP席が設置され、地元市長などが観戦していましたが、タキシードを着た係員が常駐しVIPの対応しており、日本との違いに驚きました。



大会の演出も大変素晴らしいものでした。演出花火を使用してのセレモニー。エスコートキッズに伴われた選手入場。子供が足りなかったのでしょうか、一部エスコートおじさん、エスコートおばさんもいましたが、これもなかなかのものでした。映像配信はリプレイ再生、スローモーション再生、特定の選手へのクローズアップ等も行われ、アナウンサーと解説者による実況中継も取り入れられていました。メジャーなスポーツのテレビ放送を見ているようなライブ放送に日本にいる方々も大変びっくりしたのではないかと思います。

フランス連盟は「競技」「陽気さ」「喜び」「尊重」「声援」「ショー」をこの大会のテーマとしてあげていました。まさにすべてを達成することができた大会だったと思います。